

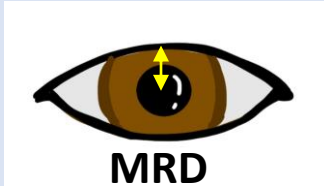


後天性眼瞼下垂

瞼が下がったような気がする
と眼科を受診される方がい
らっしゃいます。瞼が腫れて
重くなり下がることもありま
すが、加齢による変化で徐々
に下がってくる方が多いです。

瞼は、眼瞼挙筋という筋肉
で上に引き上げるのですが、
この**筋肉と腱の部分**が伸びて
しまうと瞼を上を引き上げる
力が弱くなり、瞼が下がるよ
うになります。

眼瞼下垂の
程度を評価す
る方法があり
ます。



MRD marginal reflex distance

角膜中心から上眼瞼縁までの
長さで評価します。⇔の距離
正常は3mm以上あります。
2mm以下になると手術適応に
なります。

挙筋能

瞼を上にあげる挙筋能を評価
します。これが弱くなってい
ると瞼が上にあがらずに見え
にくくなります。

眼瞼下垂の治療

眼瞼下垂の治療は、**手術が基
本**となります。瞼を挙上する筋
肉を縮めて、瞼を上へ上げやす
くします。

また、余剰な皮膚を切除して、
瞼のボリュームを落とすことで、
瞼が上がりやすくなります。

手術時間は術式にもよりますが、
片眼で40～60分位になり
ます。局所麻酔で行います。手
術中は麻酔をしているので痛み
を感じることはないと思います。

通常、1週間後に抜糸があり、
術後は腫れや皮下出血がありま
すが、徐々にきれいになってい
きます。

当院では**都立大塚病院、日大
板橋病院の形成外科**に紹介する
ことが多いです。形成外科医は
機能面だけでなく、整容面の観
点で仕上がりをイメージしてく
れます。形成外科の手術ですが、
眼瞼下垂は**保険診療**で治療を受
けられます。手術代は3割負担
の方で**21600円の自己負担**にな
ります。気になる方は、気軽に
相談してください。